

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。  
本資料の権利は当社に帰属します。無断複製を行わないようお願い致します。

## 第7期(2005年3月期)中間決算説明会資料

2004年11月18日

株式会社ビーマップ

  
HERCULES  
ヘラクレス上場会社: 4316

# ビーマップの事業領域



## ビーマップの事業ドメインは

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にする  
ソフトとサービスの提供

*Best Mobile Application Producer*

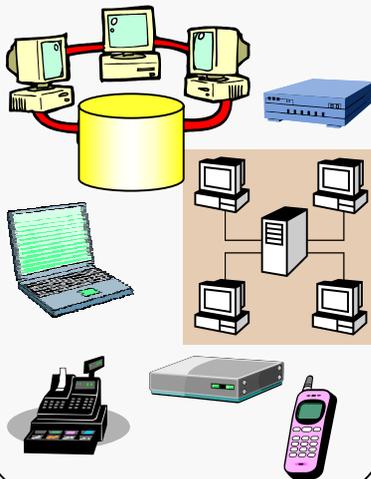


# ビーマップのビジネス機会・事業ドメイン

多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを  
可能にするソフトとサービスの提供

## ビジネス機会

### ネットワーク/ コンテンツ



## BeMap事業ドメイン



コンテンツ  
配信インフラ

アプリケーション

短距離無線系 (赤外通信等)

無線LAN系

携帯電話系

インターネット系

業務系・LAN系

コンテンツ配信インフラ  
コンテンツ配信課金

企画開発・運用  
ライセンス提供

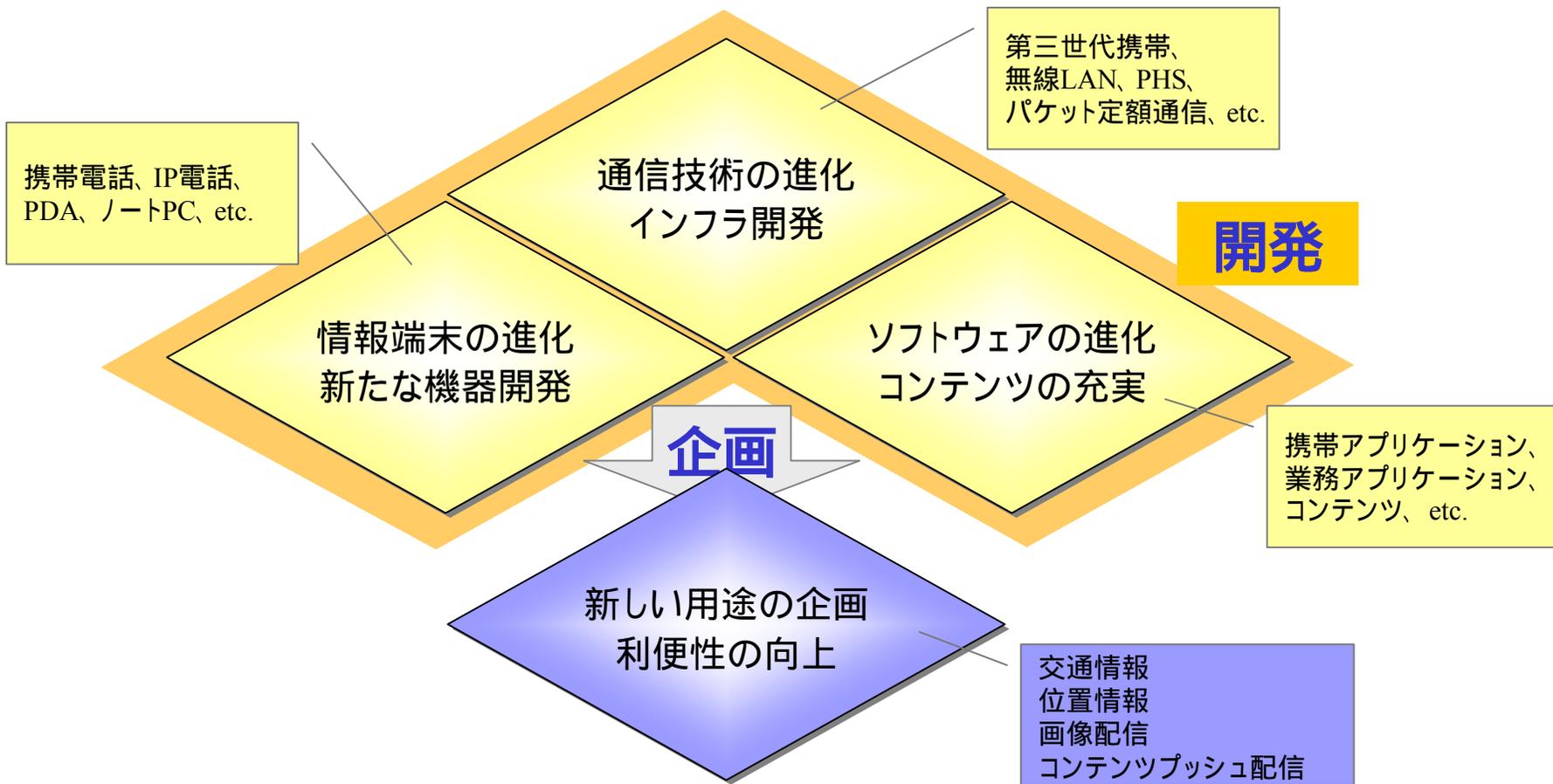
## ターゲット

### モバイル端末



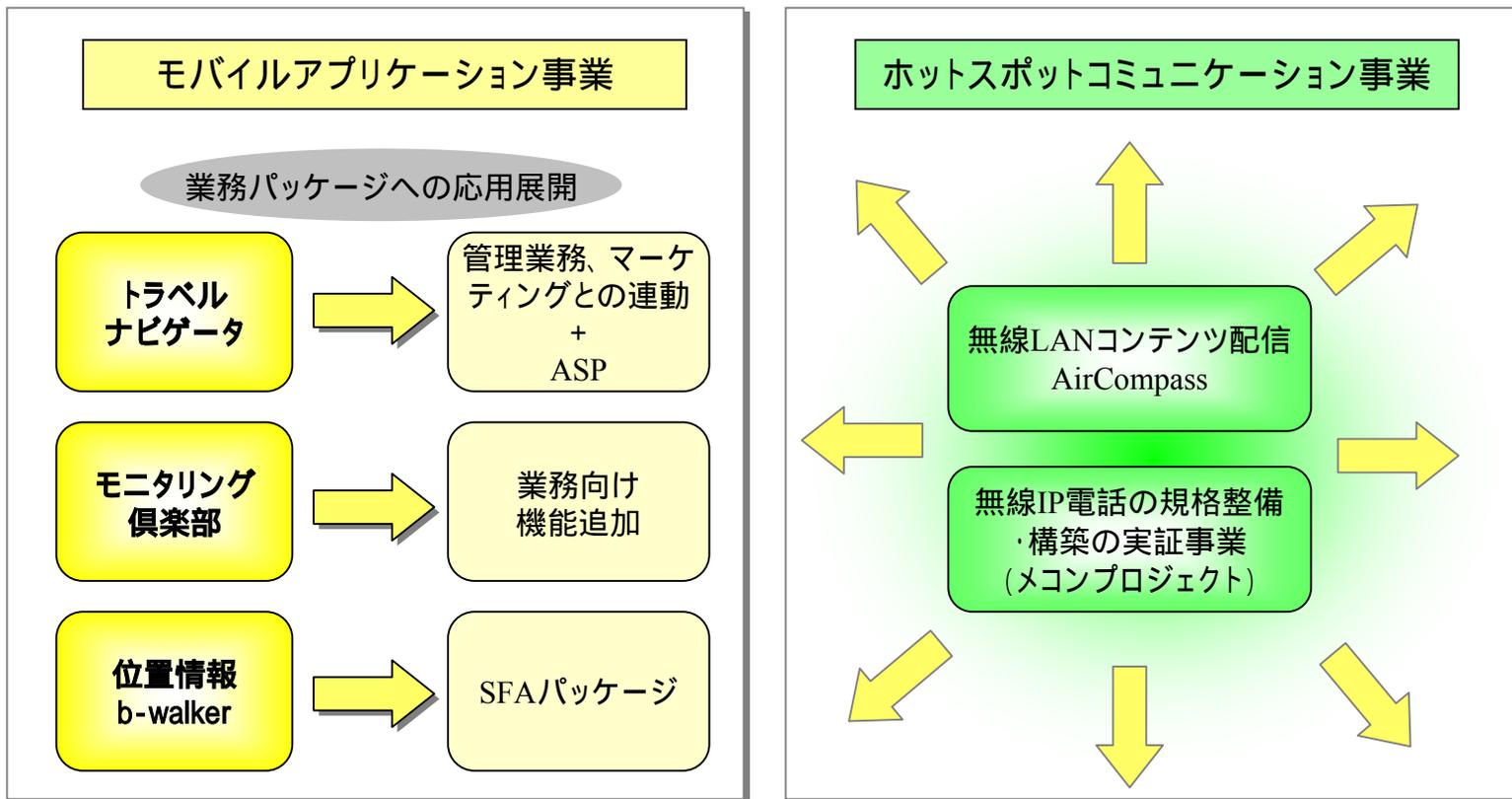
# ビーマップの強み

■開発力と企画力の組み合わせがビーマップの強み



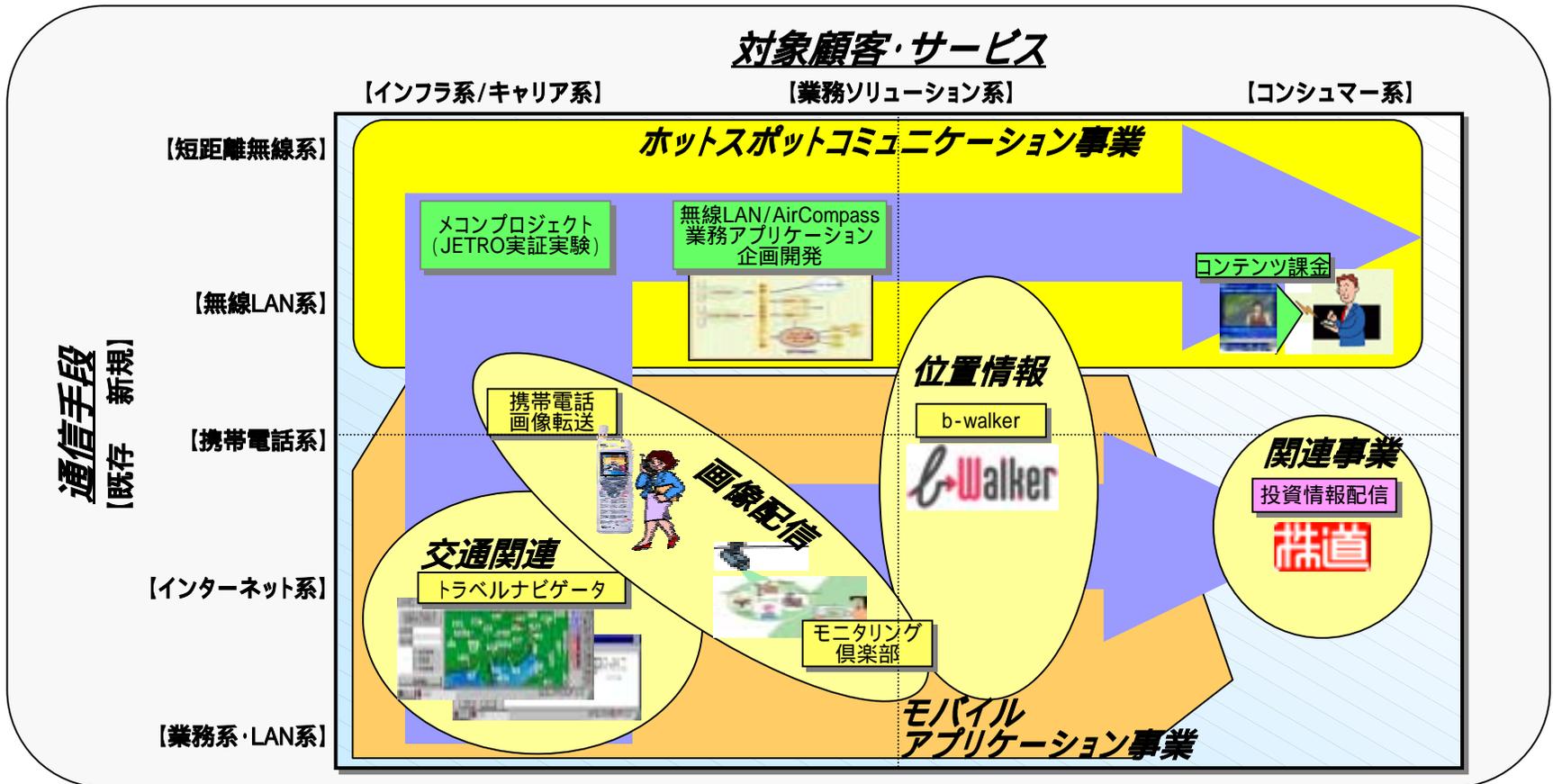
## 今後の方向性

- モバイルアプリケーション事業では、既存のソフトを業務パッケージに応用し、企画・提案販売
- ホットスポットコミュニケーション事業では、AirCompassなどの拡大展開を目指す



## 当社のビジネス展開

- 既存のモバイルアプリケーション事業における企画開発が主な収益基盤
- 既存ビジネスで培った技術・ノウハウに基づき、新たな通信手段に対応したサービスを展開



# ビーマップの主要クライアント・パートナー

- クライアント・ビジネスパートナーと構築したネットワークで、新たなユーザーニーズ・用途に対応

新たなユーザーニーズ・用途



**BeMap**

企画開発・  
コーディネーション

クライアント・ビジネスパートナーとのネットワーク

## 通信キャリア系



## 交通機関係



## アプリケーション /コンテンツ系



## 端末・機器系



## 各種機関





## 2005年3月期中間期の主要アクション

4月：インターネットを活用した位置情報連携地図活用サービス「b-walker」発売開始

4月：遠隔監視ソリューション「モニタリング倶楽部」の機能向上

5月：無線LANコンテンツ配信システム「AirCompass」JR東日本主要駅でサービス開始

5月：無線LAN位置情報システムを開発、「b-walker」と連携

7月：関連会社クレッシェンドにて個人投資家向け投資顧問サービス「株道」開始

8月：(株)Accessと、無線LAN、非接触ICカード、近距離無線分野において業務提携

9月：日本貿易振興機構より先導的貿易投資環境整備実証事業を受託

9月：モニタリング倶楽部、ASP型強化版(DNCモニタリングASP)を展開

営業・販売

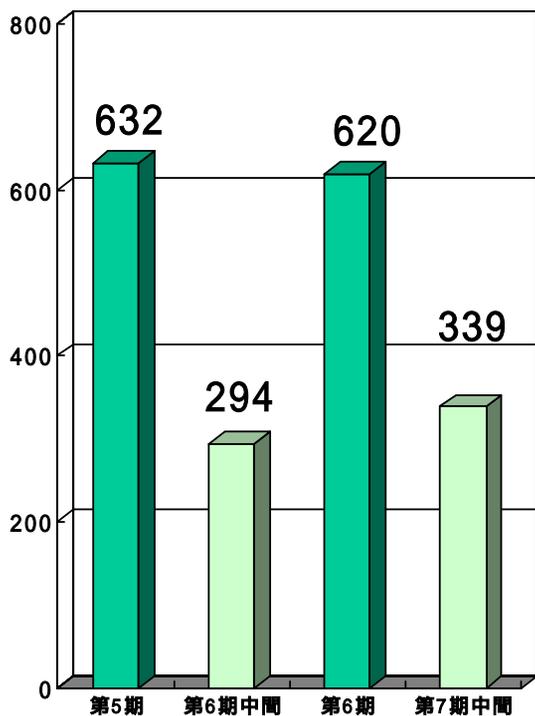
技術・事業  
開発

# 第7期(2005年3月期)中間決算の概要

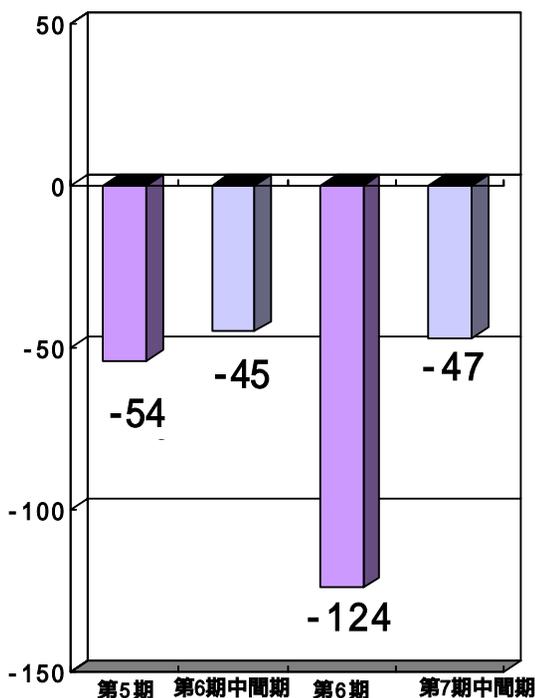
## 売上高及び損益の推移

- 売上は前年同期に比べ、8.1%の増収。
- 利益率の低いサービスの提供比率が高まったため、中間期は損失を計上。

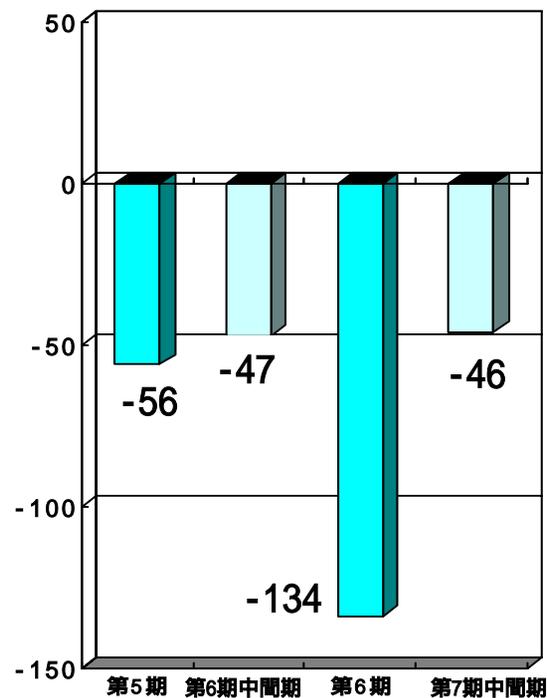
### 売上高



### 営業損益



### 経常損益



(単位:百万円)

## 第7期中間期の業績・収益性の分析

- 売上高は、モニタリング倶楽部の増収、@写メールの堅調に対して、JRトラベルナビゲータは減収。全体では、45百万円(8.1%)の増収。
- 販管費、営業損益とも昨年度と同水準。

中間期業績比較	第6期中間期 (2003年9月)	第7期中間期 (2004年9月)	前年同期比	
			金額	百分率
売上高	294	339	45	15.3%
売上総利益	54	53	1	-1.9%
売上総利益率	17.9%	15.7%	-	-
販売管理費	98	101	3	2.8%
販売管理費比率	33.3%	29.8%	-	-
営業損益	45	47	2	4.4%
営業損益率	-15.4%	-14.1%	-	-
経常損益	47	46	1	-2.1%
経常損益率	-16.1%	-13.7%	-	-

・モニタリング倶楽部の売上増加が、交通関連(JRとラベルナビゲータ)の減収を補い、増収

・利益率が比較的高いJRトラベルナビゲータの比率が低くなったために、売上総利益率が低下

販管費は前年同期と同水準

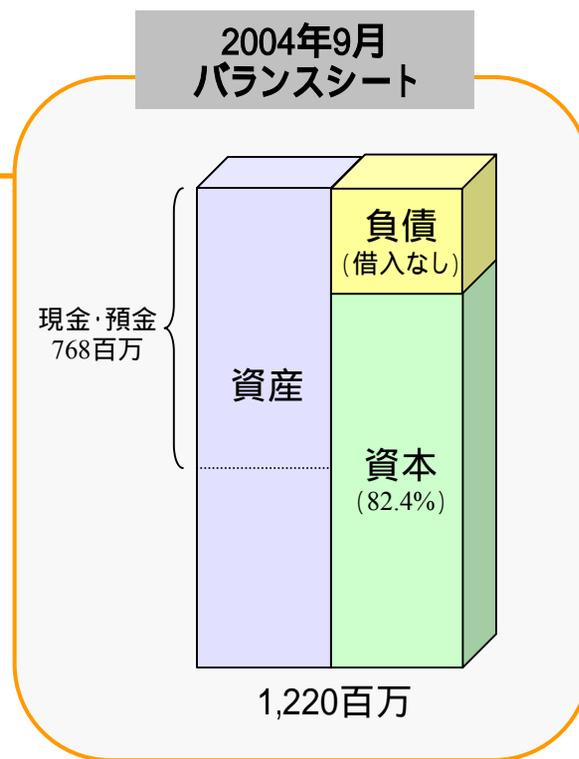
(単位:百万円、  
百万円未満切捨て)

## バランスシートの状況

- 資産合計1,220百万円。うち現金及び預金は768百万。
- 借入金はなく、無借金経営。自己資本比率82.4%。

	第6期中間期 (2003年9月)	第6期 (2004年3月)	第7期中間期 (2004年9月)
資産合計	1,810	1,290	1,220
うち現金・預金	1,347	854	768
流動比率 (%)	74.4%	66.2%	62.9%
負債合計	764	237	214
資本合計	1,045	1,052	1,005
自己資本比率 (%)	57.8%	81.6%	82.4%

(単位: 百万円、  
百万円未満切捨て)



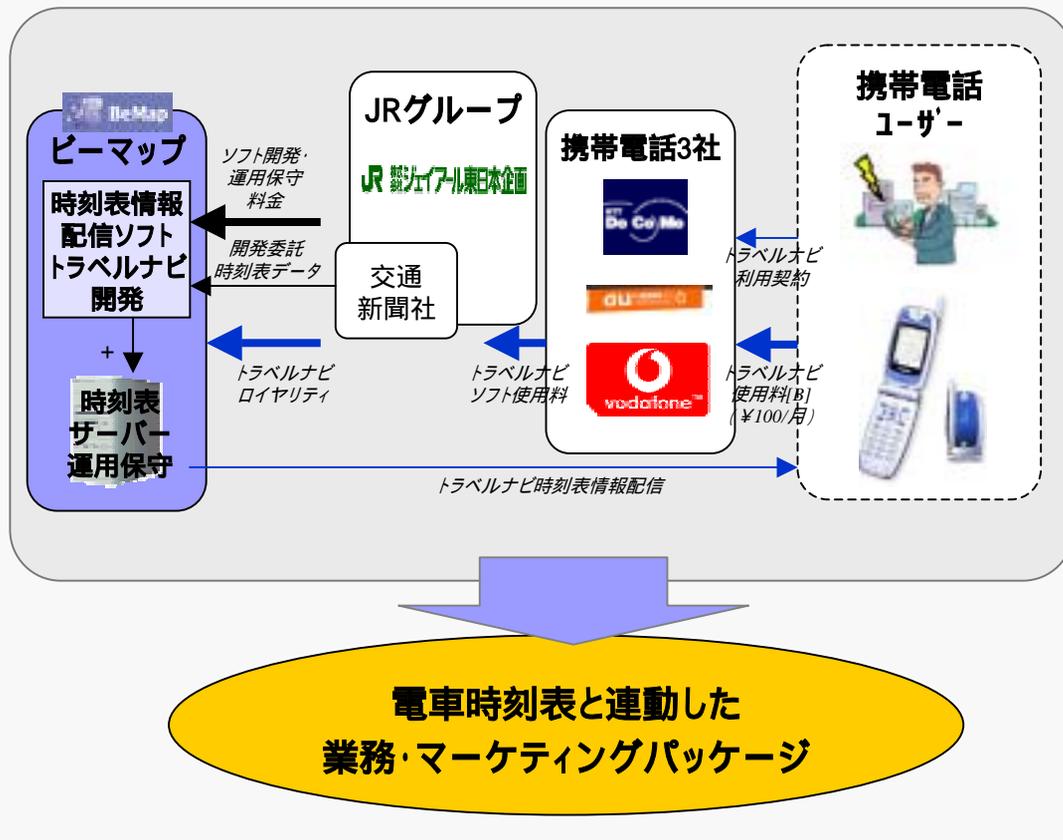
# 分野別事業内容・業績

## ビーマップの事業分野

事業セグメント	事業分野	業務内容	事業展開状況
モバイル アプリケーション事業	交通関連分野	- 鉄道等交通機関の乗り継ぎ(経路探索)技術の提供 - JR東日本予約サイト(駅ネット)への提供	- 「トラベルナビゲータ」を中心とした企画開発・運用 - 業務パッケージへの展開を狙う
	位置情報システム分野	- ドコモの位置情報システムの開発運用 - PDAパッケージ「b-walker」の提供	- b-walkerが好調で、拡大展開および業務パッケージへの応用
	画像配信サービス分野	カメラ付携帯電話の画像転送システムの開発・運用保守 遠隔地カメラ監視のASPサービス	- @ムービー写メールの運用が安定した収益貢献 - モニタリング倶楽部を積極営業展開
	生活情報分野	インターネット広告管理システムの開発・運用	- バナーサービス終了、規模縮小
	その他ソフトウェア開発運用	メール配信ソフトウェア企画開発、携帯電話向けコンテンツ配信など	- 携帯電話用の画像ビューワー開発
ホットスポット コミュニケーション事業	無線LAN配信インフラ分野	無線LANホットスポットにおけるコンテンツ配信インフラを開発・提供するサービス、業務用パッケージ	- AirCompassを活用する配信エリアの拡大、および業務パッケージの企画開発
	携帯無線IP電話の実証事業	JETROの公的スキームでタイにおいて実証事業(通称メコンプロジェクト)	- 将来的な事業機会作りに向けたテストケース

## 分野別展開 - 交通関連 -

### 交通関連事業モデル



### 現在の事業概要

1. ソフトウェア企画開発
  - JRグループよりトラベルナビゲータのソフトウェア開発・運用保守を受注。
2. ロイヤリティ収入
 

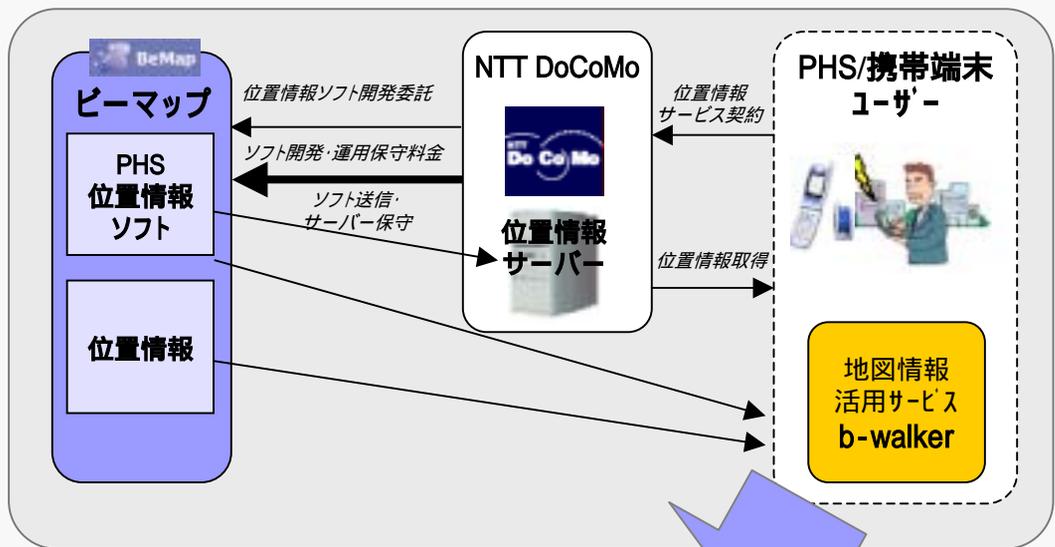
携帯電話からのトラベルナビ検索にサービスを提供。登録したユーザーが支払う利用料の一部がビーマップのロイヤリティ収入。

### 今後の展開

- ✓ トラベルナビゲータの機能追加のための企画提案・営業に注力
- ✓ 電車時刻表と連動した業務・マーケティングパッケージの企画提案
- ✓ ASPによる電車時刻サービスの展開

## 分野別展開 – 位置情報 –

### 位置情報事業モデル



**b-walkerの機能を活用した  
業務パッケージ(SFAなど)**

### 現在の事業概要

- ソフトウェア企画開発運用**  
–NTT DoCoMoのPHS位置情報ソフトウェアの開発・運用保守。
- PDA・HPC向け地図情報活用サービス b-walker**  
–位置情報取得・地図ビューワーソフトの販売。  
–PDA・HPC向けにバンドル提供。

### 今後の展開

- ✓日本通信、日本HPと共同で開発・販売しているb-walkerの積極展開
- ✓b-walkerを活用した業務パッケージを企画・開発し、提案販売
- ✓セールス・フォース・オートメーション(SFA)など

## 下半期の強化ポイント

**事業概要** : ナビゲーションシステムをPDAメーカー、通信事業者に、SFAツールとして提供。



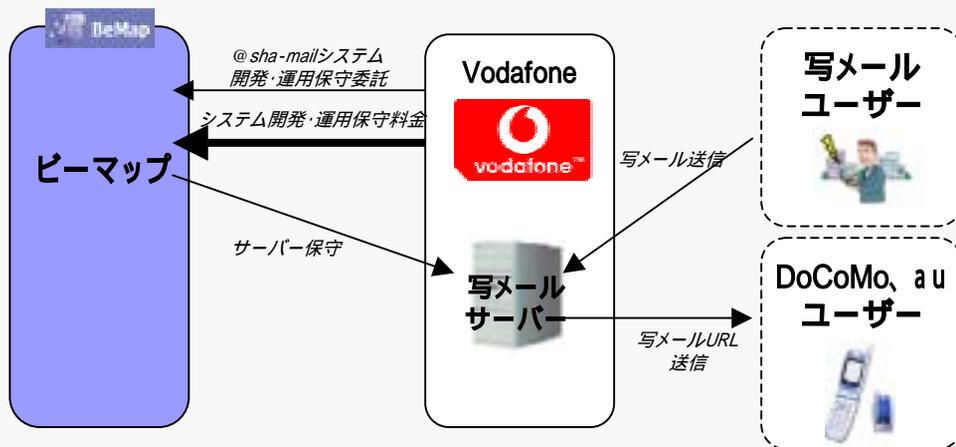
**PDAメーカー:** 大手ハードメーカーへのライセンス提供を予定。

**SFAツール:** SFAツールとして、大手エネルギー関連事業会社へ提供予定。

**通信事業者:** 個人向けナビゲーションソフトとしてバンドル提供。

## 分野別展開 – 画像配信 –

### @sha-mail 事業モデル



### 事業概要

#### システム企画開発運用

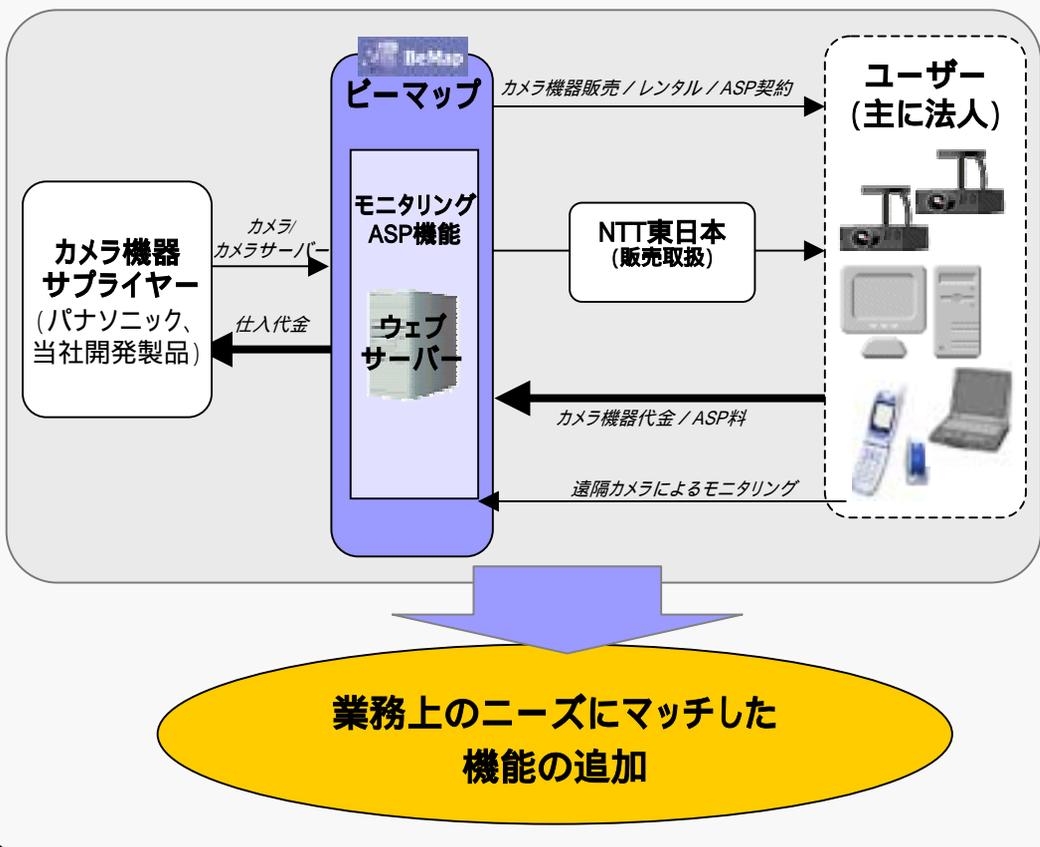
- ボーダフォンの写メール、ムービー写メールをNTT DoCoMo、auなどの携帯ユーザーに送信する際の変換システム (@sha-mail) の開発・運用保守を受託。

### 今後の展開

- ✓ @sha-mail及び画像関係の継続的なシステム運用と、機能追加の提案
- ✓ Vodafoneグループとの提携強化による、当システムへの他市場への横展開を目指す

## 分野別展開 - 画像配信 -

### モニタリング倶楽部 事業モデル



### 事業概要

#### 1. ASPサービス

- インターネット / ウェブカメラを活用した遠隔地監視システムをASPサービスで提供。
- 販売は直販に加え、販売提携先のNTT東日本の法人営業部がADSLとセットで販売。

#### 2. パッケージシステム

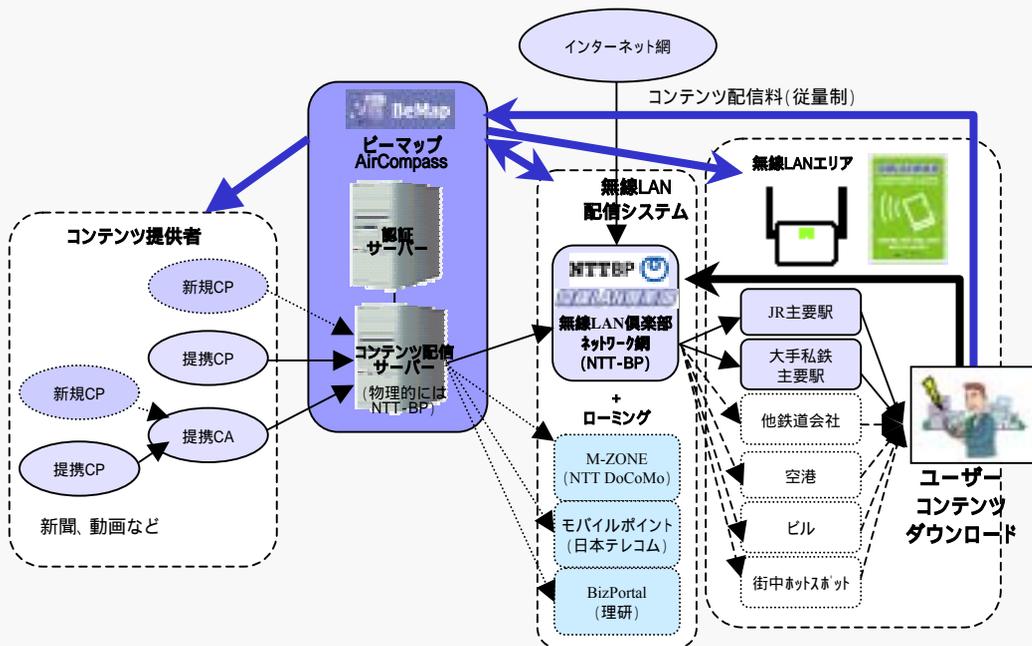
- 業務パッケージとしてシステム開発・販売
- 9月末時点で90法人600箇所を設置済

### 今後の展開

- ✓ ASP型強化版(DNCモニタリングASP)を展開
- ✓ 2005年3月末までに、さらに30法人250箇所に導入の予定
- ✓ 業務上のニーズにマッチした機能を追加し、法人顧客層に積極的に展開

## 分野別展開 –無線LANコンテンツ配信–

### 無線LANコンテンツ配信 (AirCompass) 事業モデル



### 事業概要

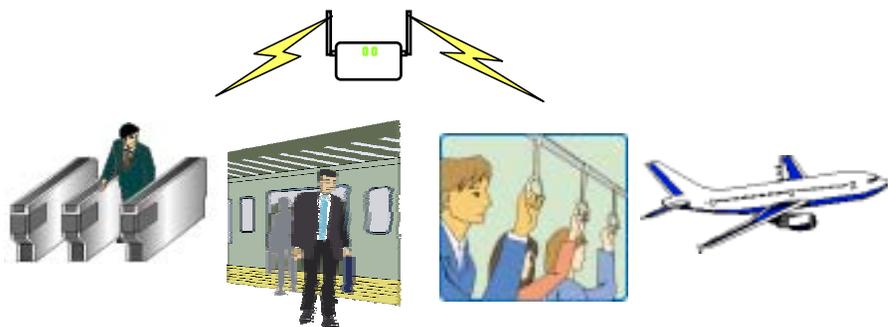
- NTT-BPが主要な鉄道の駅、空港において無線LANホットスポットを提供する「無線LAN倶楽部」を展開。提供エリアは順次拡大中。
- ビーマップは、コンテンツ配信システム AirCompassの開発・運営・機能向上を担当。
- またコンテンツダウンロード時は、配信料をコンテンツ提供者、鉄道会社、NTT-BP、ビーマップで分配。

### 今後の展開

- ✓ 事業単体での黒字化を視野に入れる。
- エリア拡大による既存ビジネスの収益アップ
  - ・東京メトロ、東急田園都市線など
  - ・M-zoneなどとのローミング
- NTTBPと共同で他の無線LAN事業者等への横展開
  - ・NTTBPブランドで複数の事業者への提供を準備中(年度末までに三社を予定)。

## 分野別展開 –無線LAN–

- 首都圏、関西圏等人口集中地域においての通勤・通学手段としての鉄道会社駅を通して、コンテンツ等の配信を行う。



無線スポットは駅周辺から航空機・列車内

**通信事業者：** 今期中に3キャリアへシステム開発、運用提供を予定。

**その他：** 無線LAN、近距離無線を利用したサービスを他社と共同で開発中。

**無線配信のデファクトを目指す！**

### 【新聞・ニュース配信】

ニュース速報をチェックしたり複数社の新聞を購読するなど、幅広い情報収集が可能。文字だけでなく、ニュース映像付きで見られる。



### 【小説・雑誌・コミック】

縦書きの小説を挿絵や写真つきで楽しんだり、有名紙・雑誌・コミックが読める。



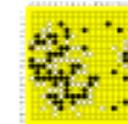
### 【音楽配信】

カラオケ、音楽試聴などの音楽も楽しめるからPDAをウォークマン代わりとしても使える。



### 【ゲーム・占い】

ゲームや、占いなど、ちょっとした時間に、携帯ゲーム機としても楽しめるコンテンツ。



### 【映像配信】

映画、ドラマ予告編などの映像を好きな時に楽しめる。



# 分野別展開 -メコンプロジェクト-

事業概要 :メコン地域に無線LANを中心にネットワークインフラを構築し、住民などを対象にアプリケーション・サービスを開発・提供を目指します。



# 第7期通期の業績予想

## 2005年3月期下半期の事業別強化項目

### ■ 交通関連

- ・JRトラベルナビゲータからの安定収益を確保。
- ・時刻表と連動した業務の提案を強化し、今期中の案件作りを目指す。

### ■ 画像配信

- ・Vodafoneグループの国際戦略に乗れるよう営業を強化。
- ・「モニタリング倶楽部」の、さらなる大型案件確保。

### ■ 位置情報

- ・「b-walker」の販売強化。PDA、HPCメーカーへの売り込み。
- ・すでに受注済みのSFAパッケージを横展開し、積極的に顧客拡大。

### ■ 無線LANコンテンツ配信

- ・利用エリアの拡大、追加開発案件の受注などにより今期中の黒字化を視野に入れる。

### ■ メコンプロジェクト

- ・パートナー企業と協力し、実証実験を通して携帯無線IP電話網のノウハウを蓄積するとともに、ビジネスチャンスを創出。

### ■ 関連会社クレッシェンド

- ・投資情報配信にビーマップのノウハウを活用すると共に、システム受託先となる。
- ・関連会社として収益面でビーマップに貢献。

## 2005年3月期業績予想

- 組織拡大に伴う損益分岐点の上昇に対応する水準までの売上到達が第一目標
- 稼働率向上と費用抑制で収益性を改善
- 損益分岐点のクリアを目標とする

	第6期通期実績 (2004年3月)	第7期通期予想 (2005年3月)	前年同期比
売上高	620	788	168
売上総利益	88	208	120
売上総利益率	14.3%	26.4%	-
販売管理費	213	208	5
販売管理費比率	34.4%	26.4%	-
営業損益	124	0	124
営業損益率	-20.1%	0.0%	-
経常損益	134	0	134
経常損益率	-21.6%	0.0%	-
当期純損益	727	0	727
純損益率	-117.3%	0.0%	-

### 売上:

- ✓ モニタリング倶楽部の売上増加
- ✓ 位置情報の業務パッケージ
- ✓ AirCompassの黒字化

### 売上総利益:

- ✓ 開発スタッフ稼働率の向上
- ✓ 新たな高付加価値の提案

### 販管費:

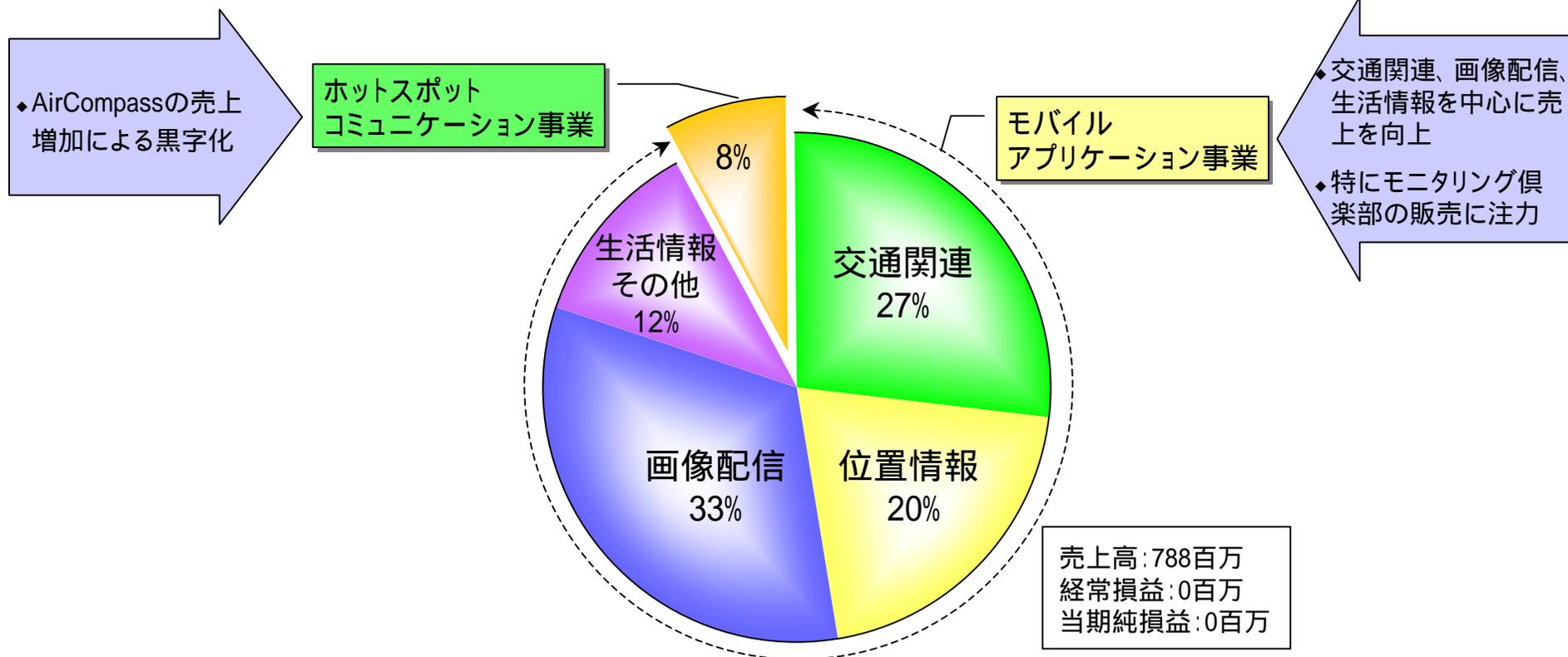
継続的に経費節減に努め、現状より若干の減少

### 収益:

まずは赤字脱却が目標

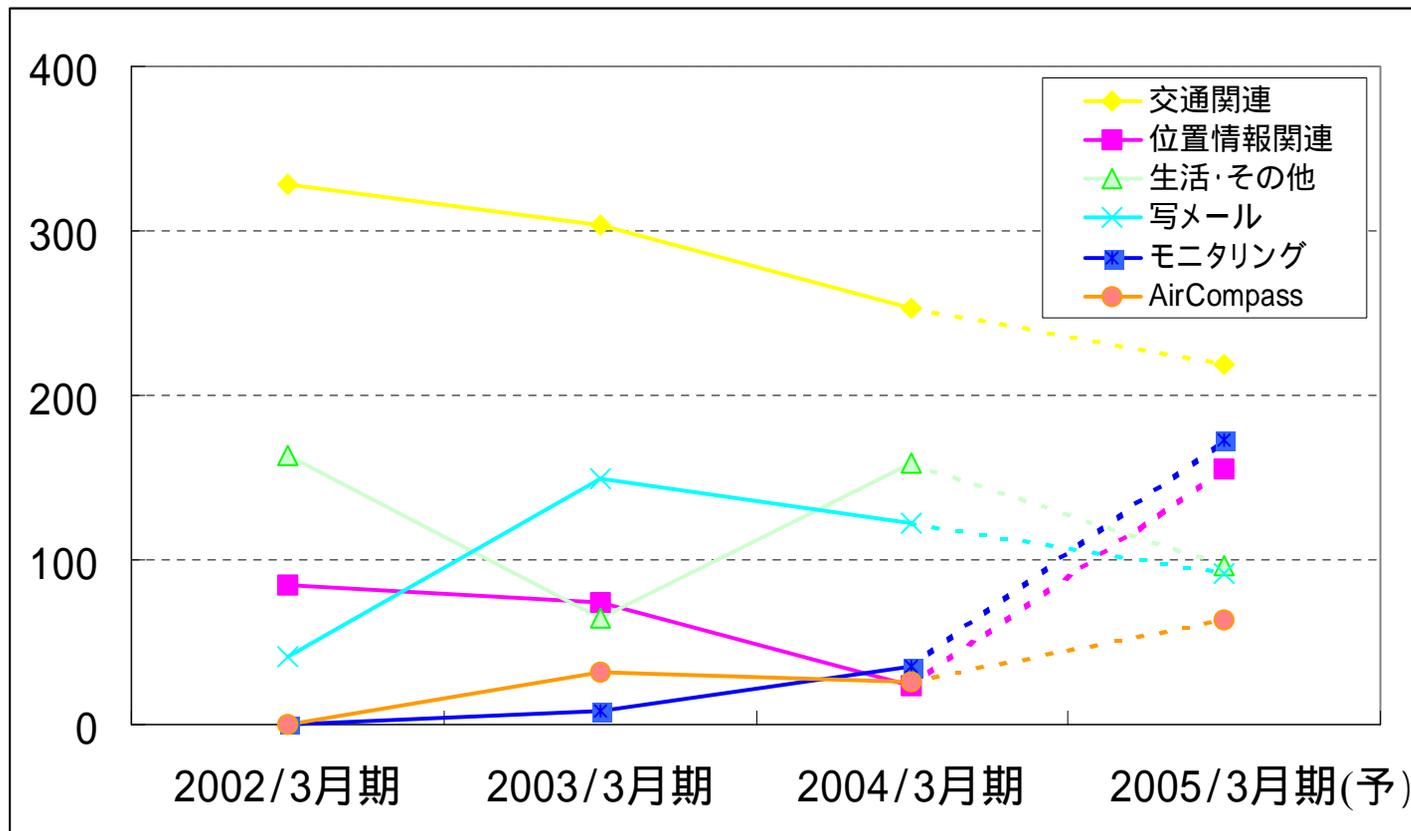
## 2005年3月期売上構成予想

- 収益基盤である交通関連と画像配信に加え、位置情報の売上増で3本柱を構築。
- 提案営業を強化し、通期での損益ブレークイーブンを目指す。



## 事業分野別売上構成

- これまで投資をしてきた分野が事業として立ち上がりの兆しを見せ、売上が伸び始める。



## ご質問・お問い合わせ

# 本日はありがとうございました。

株式会社ビーマップ

〒114-0002

東京都北区王子1 - 6 - 8

社長室 IR担当 (上野、大谷)

TEL 03 - 3919 - 4391 FAX 03 - 3919 - 4435

E-mail: [ir@bemap.co.jp](mailto:ir@bemap.co.jp)

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しの上に全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなされるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。